



大阪北ブロック 三島支部

日商保険サービス（株）

内山 雅統

大阪の北部、茨木市の中心部を南北に約2.2km連なった『桜通り』をご紹介します。元は昭和24年に廃川となった茨木川を、全長約5kmのグリーンベルトとして整備したものです。

桜を主にクスノキ、カシ、ハナミズキ、レンギョウなど40種、松を配した白砂青松コーナー、梅園、花壇、オリーブの森など変化に富む景観は、四季折々の姿を楽しませてくれています。市役所前の高橋交差点より北が『川端通り』

（注1）、南が『桜通り』と名付けられています。桜通りは大阪府みどりの百選『元茨木川緑地の桜』としても有名です。



桜通りモニュメント

毎日、桜通りを横切って徒歩で通勤している私にとって、とても季節感を感じる場所でもあります。この季節は緑の葉が青々と茂り、多くの枝葉で桜通りはトンネル状になり、夏の強い日差しを遮り、行き交う人々に涼しさを醸し出してくれています。特に早朝は散歩やジョギングを楽しむ人々を多く見かけます。早春、桜の季節ともなれば、それはそれは、満開の桜の花が帯状に連なり、言葉では言い表せないほど素晴らしい景色です。



桜のトンネルの中を歩けば360度どこを眺めても桜一色になりひと時の幸福感を味わえること間違いなしです。

桜が咲いている間の2週間程『茨木市民さくらまつり』が開催され、通りに面している佐和良義神社境内では露店も出て賑わいが増します。市役所の南側に茨木童子（注2）の石像が飾られています。茨木に古くから民衆の中で語り伝えられてきた代表的な民話をもとに製作されたものです。かわいい鬼の形相をしています。一度お出かけになられたらいかがでしょうか。



佐和良義神社

（注1）『伊豆の踊子』『雪国』などで知られる文豪川端康成は、茨木市の生まれでこの通りに面して川端康成文学館が建てられ、川端通りと名づけられました。

（注2）茨木で生まれ育ち、大江山酒呑童子の配下となって京の羅城門に夜な夜な表れたと伝えられる茨木童子はゆるキャラ？裏表紙を参照。



茨木童子